



CAPITALISM



INDIVIDUALISM



DEMOCRACY

# DE:VALUE THEN RE:VALUE



VALUALISM



TEAM CREATION



PARTICIPATORY

DE:VALUE then RE:VALUE  
—新たな価値創造のための意識転換—

既存のシステムを放棄し、意識から行動を導くシステムを提案します。私権欠乏の低下により資本主義が活力源にならなくなり、現代の承認欠乏も SNS により満たされていきます。今後の意識潮流は実現行動に向かう中、近代の価値や枠組みが残存したままではそれらの行動が阻まれる恐れがある一方、既存のシステムから脱するという意識的な困難を伴います。そこで、価値の象徴である紙幣を放棄する (DE:VALUE) ことから始めます。紙幣を資源である紙と印刷技術に分解し、それらを利用したみんなのポートフォリオを作成します (RE:VALUE)。都心部での発信できる承認充足や市民の生の反応が得られる評価充足が、ネット社会の情報を超えた新たな価値になります。

SURRENDER THE MODERN VALUE TO LEAD FUTURE ACTIONS FROM OUR MIND. AFTER THE ECONOMIC GROWTH, MONEY IS NO LONGER THE MOTIVE FOR PEOPLE TO WORK. OUR TRENDS ARE MOVING TOWARD "PRACTICISM". PRACTICISM DOES NOT FIT WELL WITH CAPITALISM WHERE PEOPLE'S ACTIONS ARE MOTIVATED BY MONEY.

MY PROPOSAL IS TO THROW AWAY BILLS, A SYMBOL OF CAPITALISM, IN ORDER TO CREATE A NEW VALUE. A BILL CAN BE BROKEN DOWN INTO THE RESOURCE (PAPER) AND TECHNOLOGY (PRINTING). PAPER AND PRINTING TECHNOLOGIES ARE RE-VALUED AS A CITIZEN PORTFOLIO. PORTFOLIO CAN BE USED AS A CITIZEN PROFILE, AN IDEA PAPER FOR BETTER CITY, AND A PROPOSAL FOR NEW PROJECTS. PORTFOLIO IS PROJECTED TO THE TOWN WHERE MANY PEOPLE CROSS AND PAY ATTENTIONS TO WHATEVER THAT INTERESTS THEM. AS ANYONE CAN POST ANYTHING TO ANYONE IN THE WORLD INSIDE THE NETWORK SOCIETY, PROJECTION DIRECTLY TOWARD THE TOWN WILL HAVE MORE VALUES.



戦後の日本は極度の貧困圧力に晒され、私権獲得が生きる第一の目的だった。いい生活のために大手企業に就き、そのために良い大学に行くことが個人のステータスになった。



1970年、豊かさが実現されたことで飢えの圧力は低下し、私権の欠乏も低下する。「いい生活」欠乏の低下は市場拡大の停止を招き、お金を稼ぐことが第一義でなくなる。



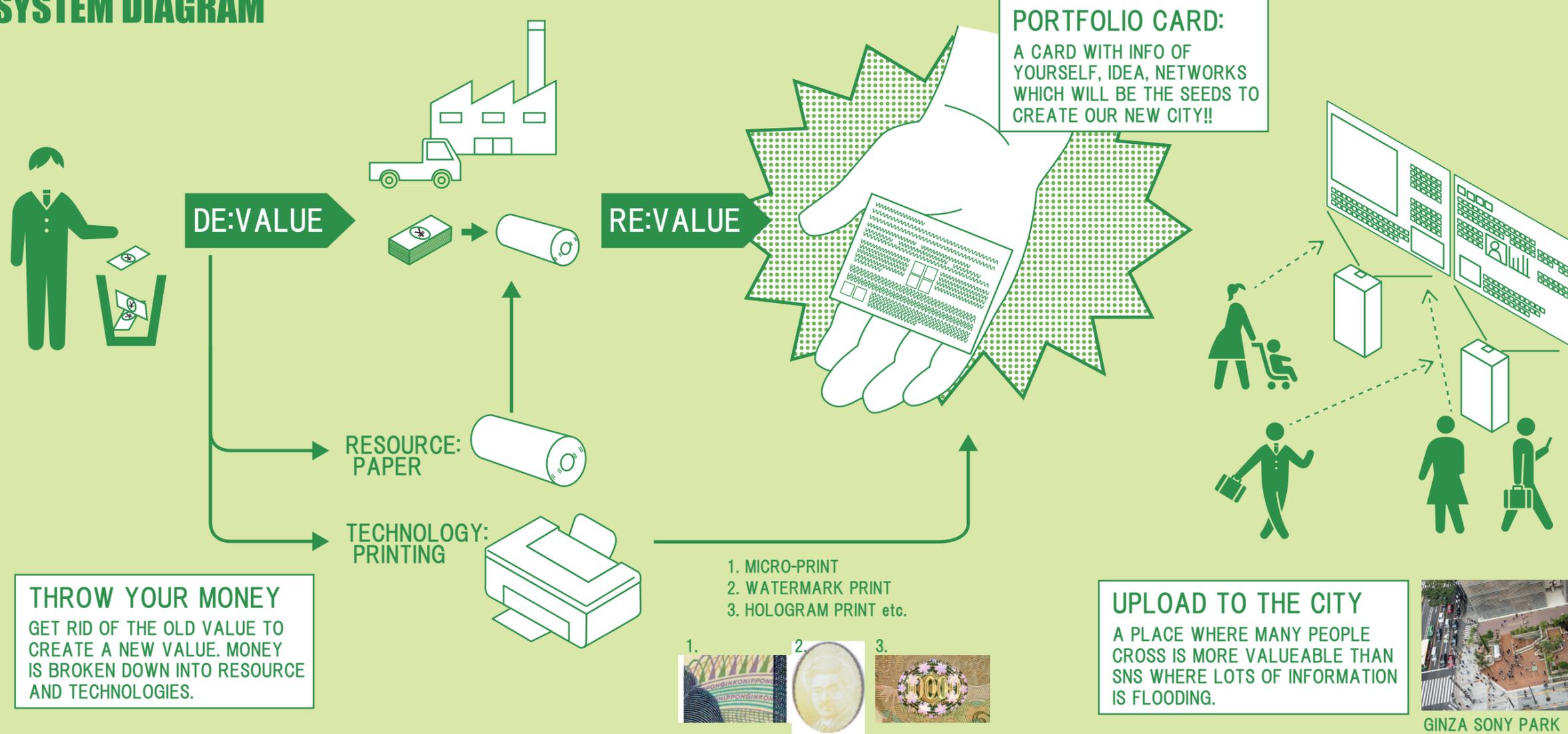
インターネットにより情報伝達速度は加速し、共有対象は全世界に広がった。ネット社会では注目・関心を集めることに価値があり、お金はそれに付随するかたちになった。



ネット社会での関心から、現実社会での実現性に価値が移行する。実現主義での制覇力は課題と向き合う**追求力**と必要な技術を集結する**関係力**になる。

**追求成果を現実社会へフィードバックでき、それを実現するためのチーム編成を行える仕組みが、みんなで街をつくる活力に繋がる。**

## SYSTEM DIAGRAM



## PROJECTION IMAGE



GINZA SONY PARK



STREET AQUARIUM

## CITIZEN PROFILE



様々な技術が民主化され、市民の均一性が高まる現代で、個々の**人材**のもつ魅力を再発見する。「この街には面白い人がいる」「こんな仕事をしている」。社会の仕組みは次々と自動化されていくが、社会をつくっているのはあくまで人。そんな人材を街に向けて紹介する。

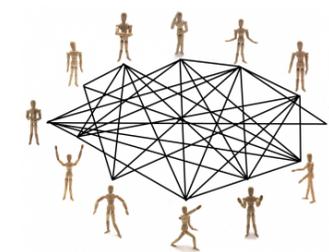
ポートフォリオ・カードを作成するために紙幣の価値を放棄している彼らは、未来づくりのための活力源は資本ではなく、社会の意識潮流や**人々の期待に応える**ために動き出す。

## CITY ISSUES



自分たちの住む街をもっと良くしたい。イベントの企画・提案、地域の抱えている課題に対するソリューションを街の住民が主体的に発信していく。市長、議員のような代理者が方針を決めるのではなく、住民の発信で評価の高いものを街のマニフェストとして実現していく。SNSのような地域性の無い媒体ではなく、街への提案を街に向けて発信することで**人々の内発を喚起**する。

## TEAM CITY



例えば、共働きをしている夫婦が子供を保育園に預けられない待機児童問題。リタイア後の元教員や自身の子育てが済んで寂しさを感じている老夫婦、もしくは子供好きなフリーターを子育て夫婦と掛け合わせ、互いのニーズを補助し合えないだろうか。

ポートフォリオ・カードで街の人を知り、街の課題を知り、期待を知ること**地域の結束力**を高め、街が一つのチームのように機能する。